



だいす、野菜類及び花き類 **ハスモンヨトウの発生に注意**

多くのほ場で卵塊や幼虫が確認されています

- (1) 9月中旬のキャベツにおけるハスモンヨトウ発生状況調査では、多くの地点（発生地点率90% 過去10年間で2番目に多い）で卵塊又は幼虫が確認されています。
- (2) 県内7か所に設置しているハスモンヨトウフェロモントラップへの雄成虫の誘殺数は、平年に比べて多く推移しています。また、誘殺ピークは8月第6半旬～9月第2半旬に確認され、今後も幼虫の発生が多くなると予想されます(図)。
- (3) 県内各地（アスパラガス、だいすほ場など）で卵塊や幼虫が確認されているので、**ほ場で発生を確認したら直ちに防除**してください。
- (4) 具体的な防除対策については、7月14日発表の**技術情報第2号を参照**してください。
- (5) 最新のハスモンヨトウフェロモントラップ調査結果は、広島県ホームページ（植物防疫）「病害虫発生予察調査データ」の「1 フェロモントラップなどによる予察調査の結果」を参照してください。

平年：過去10年の平均値

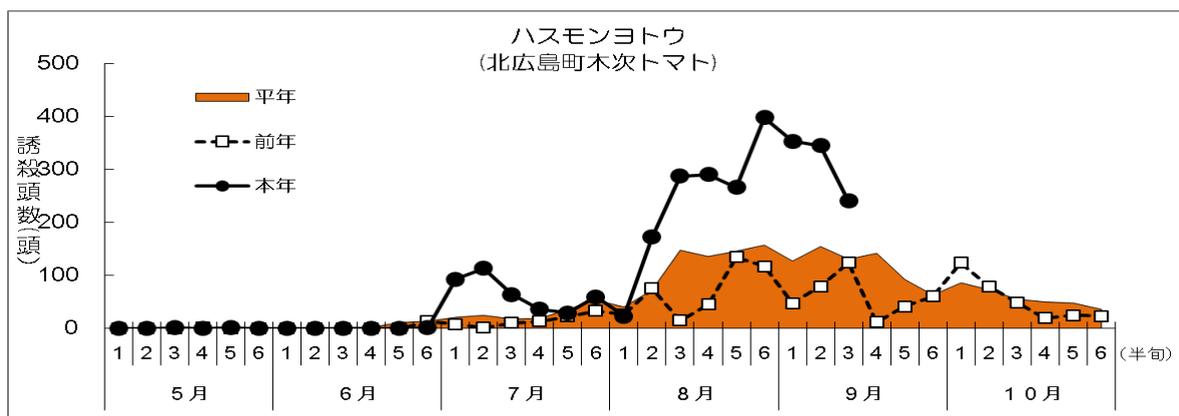
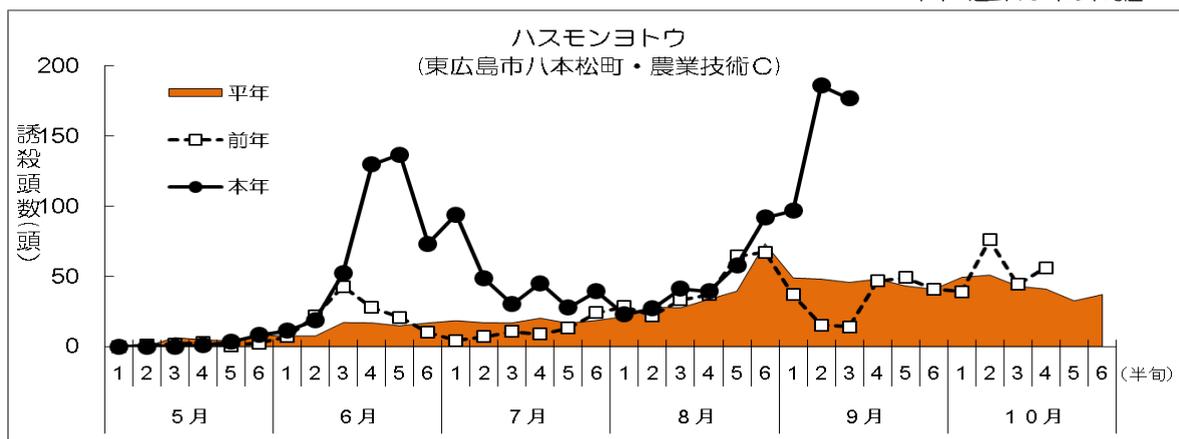


図 県内各地におけるフェロモントラップへの雄成虫誘殺数の推移

● **お問合せ先**

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
 東広島市八本松町原 6869
 TEL：082-420-9662 (直通)



広島県 植物防疫

検索



ホームページ（植物防疫） (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>)